伊勢志摩版

全国コンテスト「DCON」本選出場目指す

ミカンやノリ 食害対策 開発中

鳥羽商船高専チーム 意気込み

鳥羽商船高専（鳥羽市）の学生が、人工知能（AI）のディープラーニング（深層学習）やものづくりの技術を生かした作品を制作し、事業性を競う「全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト（DCON）」の本選出場を目指している。計3チームが一次審査を通過し、ミカン農園やノリ養殖場での鳥類の食害を防ぐ仕組みなどを開発中。本選出場となれば学校から2年ぶりで、各チームが準備を進めている。

白石和章教授の研究室では荻田龍斗さん（情報機械システム工学科3年）らのチームが、南伊勢町にある土実樹（つみき）農園のかんきつ類がカラスやヒヨドリに食べられてしまう被害に注目し、鳥獣害の予測、通知のためのシステムを開発中。カメラを設置してAIで鳥を認識し、羽数や飛来した時間のほか、気温、湿度、風向、風速なども計測し、データを蓄積して飛来条件の分析を試みている。

鳥羽商船高専は9月、農業の課題解決に向けて東海農政局県拠点と連携協定を結んだ。食害に困っている土実樹農園の相談を農政局が受け、協定先の高専に引き継いだことをきっかけに荻田さんらの開発が始まった。

農園は既にロケット花火を打ち上げるなど鳥を追い払う対策をしているが、荻田さんは「被害が集中しそうな時間に、効果的に対策ができるようにシステムを開発したい」と話す。

高専の副校長を務める江崎修央教授の研究室では、北仲一登さん（同4年）をリーダーとするチームが、全国のノリ養殖場でカモによる食害が発生している状況を知って課題に設定。AIと一体となった陸上のカメラでカモを検知するとドローンを自動で飛行させたりカモの誘導に効果的な音を鳴動させたりして追い払うシステムを開発している。

現在は、学校近くの池に飛来するカモに対し、求愛や威嚇をする際にカモが出す音をスピーカーで流し、カモの反応を観察する調査に取り組んでいる。今後もドローンの飛行試験などの準備を重ね、仕上げていくという。

北仲さんは「ノリ養殖は各地で盛んで、食害を解決できれば養殖業者の利益向上につながる。短期間で完成に近づけたい」と意気込みを示した。

上 装置の画像を紹介する荻田さんら白石研究室の学生　下 食害対策に役立つシステムの開発を試みている北仲さんら＝いずれも鳥羽市の鳥羽商船高専で

23年本選出場 2チーム快挙　プラ材質判定装置発表

昨年にあった「DCON2023」の本選では、鳥羽商船高専から2チームが出場。江崎教授の研究室からは、小坂優太さん（現生産システム工学専攻1年）らのチームが10チーム中2位に入り、経済産業大臣賞を獲得した。

スマートフォンに専用器具を取りつけてプラスチックごみに接触させ、スマホのカメラ機能やアプリを通じてポリプロピレン、ポリエチレンといった材質を判定する装置を発表した。リサイクル促進に役立つため、現在も民間企業と連携した共同開発が続く。

白石教授の研究室に所属する荻田翔騎さん（同2年）らのチームは大会の本選で、かんきつ類を栽培する農園での農薬散布や選果作業をAIで省力化する技術を発表。8位に入って文部科学大臣賞を得た。

「DCON2024」では学校から1チームが二次審査を通過したが、本選出場は

やっぱりおいしい ミエライス

めだかのうた

〈目が合わないように〉
私　雨降ってないのに何で傘さしとるの？
孫　お月さまが見てくるから怖いで　傘さしとるの
みずたに・もも（4）＝東員町山田、祖母・水谷裕子

〈叔母のペディキュア〉
子　きれ～い！　くつ下はかないでね！
なかさと・わか（5）＝伊勢市柏町、母・中里香織

議会だより

11日

【玉城町】再開。渡辺昌行、井上容子、山口欣也、南雅彦、北守、中西友子、坂本稔記の7議員が一般質問した。主な答弁は次の通り。

▽老朽化した公共施設田丸の町屋内体育館は老朽化が進んでおり、新たな体育館の建設計画を進めている。2026年度に基本設計、27年度に実施設計をする予定。

【南伊勢町】再開。岡田和夫、岡本真、森源久の3議員が一般質問した。専決処分1件を承認し、小中学校の給食の材料費などを盛り込んだ1210万円を追加する一般会計補正予算案を含む14議案を上程、可決

次の通り。

▽認知症対策と支援　知症への正しい理解の普を目的としたサポーター成講座や、行方不明の恐がある高齢者の情報を登できるSOSネットワー制度などを実施している今後も早期発見や予防のための体制を強化し、認知になっても安心して暮らるまちづくりを目指す。

あらかると

◇伊勢市クラシックギタを楽しむ会例会「アヴェマ ア」　15日（日）後2～3 30、伊勢市八日市場町の市 会福祉協議会福祉センター 階多目的ホールで。会の広 進さんが、「アメイジング グレイス」など15曲ほどを披 する。予約制で参加費800 円。問 [illegible]

「理想の射形で」優勝狙う

伊勢高生 全国大会へ抱負

伊勢高校（伊勢市）の弓道部に所属する度会町棚橋の関守苺愛さん（2年）が25～27日、四日市市で開かれる第43回全国高校弓道選抜大会に出場する。4日に町役場を訪れ、大会への抱負を述べた。

全国高校弓道選抜大会への出場を中村町長へ報告した関守さん＝度会町役場で

関守さんは、11月2日に松阪市で開かれた県予選会に女子団体の部へ出場。6校の中で2位に入り、全国大会出場を決めた。いずれも2年の北村夏希さん、菊川理央さん、淺田葵さんとの4人で大舞台に挑む。

関守さんは「理想の射で弓を射ることができるよう、大会本番まで練習を積み重ねていきたい。当日は、これまでの成果を発揮して優勝したい」と決意を語った。

中村忠彦町長は「弓道は体力だけでなく集中力も大事になる競技だと思う。常心で臨んで頑張って」エールを送った。

（大見亜蘭）